

富士フイルムグループ。事業概要

2024年7月

富士フイルムホールディングス株式会社



将来に関する記述

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断 した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々 な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

会社概要

会社概要

社名	富士フイルムホールディングス株式会社 (英語表記名:FUJIFILM Holdings Corporation)					
代表者	代表取締役社長・CEO 後藤 禎一					
設立	1934年1月20日					
事業年度末日	3月31日					
資本金	404億円	(2024年3月31日時点)				
連結売上高	29,609億円	(2023年度)				
当社株主帰属当期純利益	2,435億円	(2023年度)				
連結子会社数	272社	(2024年3月31日時点)				
連結従業員	72,254名	(2024年3月31日時点)				

^{*2024}年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております

株式情報

2024年6月30日時点

銘柄コード	4901
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
発行済株式数	1,243,877,184株*(4/1分割後)
発行可能株式総数	2,400,000,000株*(4/1分割後)
定時株主総会	6月下旬
期末配当金/支払株主確定日	3月31日
中間配当金/支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主優待制度	あり https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual/share holder-benefits.html







コーポレートスローガン

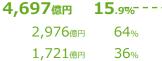
Value from Innovation

わたしたちはすべての活動に"オープン、フェア、クリア"の精神で臨みます。

| イメージング

- コンシューマーイメーシ、ンク、
- フ°ロフェッショナルイメーシ、ンク、





- ルスケア

- メディカルシステム
- バイオCDMO
- LSソリューション



















■ ビジネスイノベーション

- ビジネスソリューション
- オフィスソリューション
- グラフィックコミュニケーション

11,577億円 39.2%-

3,018億円 26%

5,243億円 45%

29% 3,316億円

2023年度 売上高

2兆9,609億円

エレクトロニクス

半導体材料

ディスプレイ材料

他エレクトロニクス材料

(産業機材・ファインケミカル)

3,584億円 12.0%

> 1,997億円 56%

> > 783億円 22%

> > 804億円 22%

















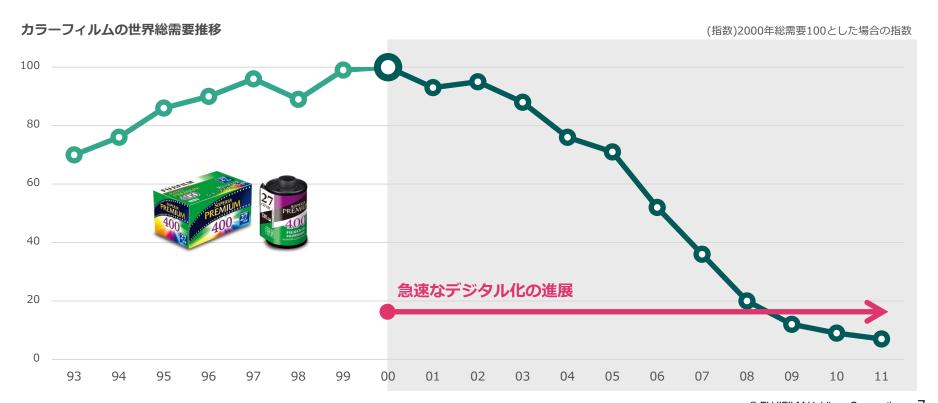




^{*} グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています

本業喪失の危機

2000年以降、本業である写真フィルムの市場が急速に縮小



新たな成長戦略の構築

ヘルスケアや高機能材料などの成長市場に経営資源を投入

重点事業を定める3つのポイント





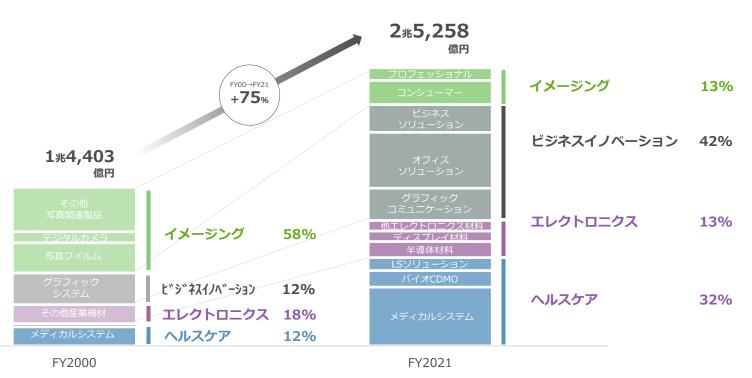
競争力を 維持できるか?

四象限マップにおける当社技術の棚卸(2000年代当時実施)

既存技術

事業ポートフォリオの変化

2000年代以降、事業構造を転換 事業ポートフォリオの強化と成長の加速により、収益構造が大幅に変化



富十フイルムのコア技術

基盤技術を基に生まれた、持続的に競争優位性を築くための核となる技術 新たな価値を共に創る、「共創」の核となり得る技術

コア技術



粒子形成技術

ビルドアップで粒子を形成する 技術



精密塗布技術

単層/多層の塗布機を、大面積 で均一に形成する技術



MEMS技術

特徴ある圧電膜を応用した機械



機能性分子技術

有機化合物の分子構造を自在に 変換、不可能を可能にする低分 子を製造する技術



製膜技術

単層/多層/3次元構造のフィル ムを成形する技術



機能性ポリマー技術

有機化合物の分子構造を自在に 変換、不可能を可能にするポリ マーを製造する技術



精密成型技術

高精度な金型へ材料を精密に転 写、固化する技術



酸化還元制御技術

有機化合物/無機化合物の連続 的な反応をコントロールする技



ナノ分散技術

非混和性の物質を安定的に混ぜ 合わせ、素材が持つ多彩な力を 発揮させる技術



撮影技術

被写体像をデジタルデータに変 換し、制御する技術



システム設計

高画質な画像を、より速く確実 に提供する技術



要素部品を設計/製造する技術





バイオエンジニアリング技術

生物が元来持つ機能を活用し、 予防・診断・治療を実現する技

当社が目指す姿

「Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)」で掲げた目標を実現するために、中期経営計画で 定めた重点施策を推進し、サステナブル社会の実現に貢献していく



サステナブル社会の実現

Value From Innovation

具体的なアクションプラン

SVP2030重点分野/重点課題は次ページ

SVP2030における目標: 重点分野とマテリアリティ

SVP2030では、2030年に想定される「解決すべき社会・環境課題」と「富士フイルムグループの事業 成長」の観点からマテリアリティを特定



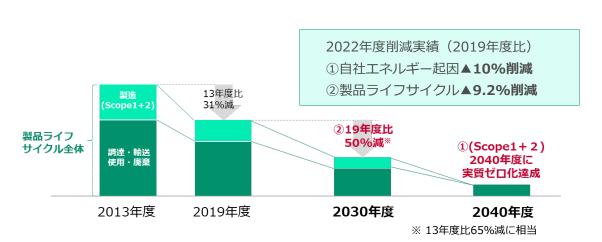
		事業を通じた 社会課題の解決 貢献(機会)	事業プロセスにおける 環境・社会への配慮 負荷(リスク)	富士フイルムグループ が貢献する SDGsの目標	
環境	 気候変動への対応 資源循環の促進 生物多様性の保全 製品・化学物質の安全確保 			7 10 10	
健康	 アンメットメディカルニーズへの対応 医療サービスへのアクセス向上 疾病の早期発見への貢献 健康増進、美への貢献 健康経営の推進 	•	● (従業員)	3 min 19 min 17	
ဂ် ர் 生活	安全、安心な社会づくりへの貢献 新たな感動・体験を社会に届ける 写真・映像文化の継承・発展 心の豊かさ、人々のつながりへの貢献	•		9 111111 17 17 17 11111	
計働き方	1. 働きがいにつながる環境づくり (ソリューション・サービス提供) 2. 多様な人材の育成と活用	•	● (従業員) ● (従業員)	3 :::::: 8 :::: 17 ::::::: 18 :::: 18 :::: 18 :::: 18 :: 18 ::: 18 ::: 18 ::: 18 ::: 18 :: 18 :: 18 ::: 18 ::: 18 ::: 18	
	事	業活動の基盤			
サプライチェーン	環境・倫理・人権等のCSR基盤をサプライチェーン全体にわたり強化する				
ガバナンス	オープン、フェア、クリアな企業風土のさらなる浸透により、ガパナンス体制を改善・堅持する				

ESG | 環境への取り組み:削減目標・基本方針

GHG排出の多い事業から単に撤退するのではなく、社会的ニーズに対する供給責任を果たしながら 現行事業の低炭素化と低炭素ソリューションの開発・提供を通して脱炭素社会の実現に貢献する

富士フイルムグループの脱炭素目標

- **2040年度までに**自社が使用するエネルギー起因の**GHG排出を実質的にゼロ**とする
- 原材料調達から製造、輸送、使用、廃棄に至るまでの自社製品のライフサイクル全体において **2030年度までにGHG**排出量を**50%削減(2019年度比)**する



■ 製品ライフサイクルステージ別 GHG排出量(2022年度)



ESG | 社会への取り組み:人的資本への取り組みにおける基本方針

事業構造の転換を果たした、変化を恐れずに挑み続けるマインドが富士フイルムグループのDNAであり、 強さの源泉。「個の成長」と「組織の成長」のスパイラルアップを重視し、変化を成長のチャンスと 捉えて挑戦する従業員を育成し、高い従業員エンゲージメントを目指す。

■ 富士フイルムグループの人材育成の目指す姿

富士フィルムグループの 人材育成の目指す姿

変化を作り出す企業になる

Value from Innovationの実現

従業員エンゲージメントの向上

組織の成長 個の成長

多様な従業員一人ひとりが個性や能力を最大跟発揮しながら100人100通りの+STORYを紡ぐ









課題形成力(STPD)·専門力·技能 自分が主体者として、 役割を超えて本質的な課題を考え、 周囲を巻き込み実行する

自己成長の基盤を身に付ける(+STORY)

①変化は成長のチャンスと捉えて挑戦し ② F長は対話を通じて部下の価値観・考えを

ビジネスの基礎(コミュニケーションカ、論理力など)/ITリテラシー・スキル

オープン・フェア・クリアな風土・幅広い事業領域/技術

- 多様な事業を成長させるため強いリーダーシップを発揮 できる人材の育成が不可欠
- 従業員一人ひとりが「変化」を成長のチャンスと前向き に捉えて、挑戦することを重視。 自己成長支援プログラム「+STORY(プラストー リー) | を通して部下・上長との対話を実施

ESG | ガバナンスへの取り組み1/2:基本方針と体制

コーポレートガバナンスの基本方針

誠実かつ公正な事業活動を通じて、富士フイルムグループの持続的な 成長と企業価値の向上を図るととともに、社会の持続的発展に貢献す ることを目指しており、その実現のための基盤として、コーポレー ト・ガバナンスを経営上の重要な課題と位置付けている

当社コーポレート・ガバナンス体制のポイント

機関設計

- 「監査役会設置会社」を選択
- 取締役会の諮問機関として、任意の指名報酬委員会を設置

取締役会

- ・ 取締役の員数を12名以内とし、うち3分の1以上を独立社外取締役とする
- 取締役会議長とCFOを分離し、業務執行の「監督」と「決定」の役割を明確化。
- ・ 取締役の任期は1年とし、取締役の使命と責任をより明確化

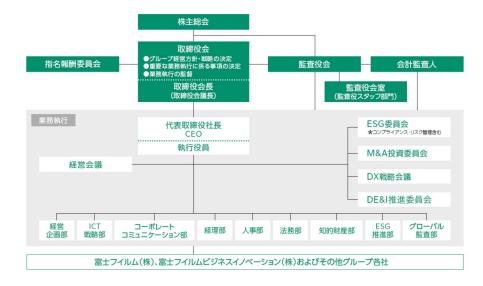
指名報酬委員会

- 取締役会の決議により選任された3名以上の委員で構成し、委員長は社外取締役とする (現在3名の委員のうち、委員長を含む2名が独立社外取締役)
- 取締役会の諮問機関として、CFOのサクセッションプラン及び取締役の報酬制度等の手続きに関する 客観性・透明性を確保することを目的とする

コーポレートガバナンス体制

コーポレートガバナンス・ガイドラインを制定・公表。グループ経営 の基本方針と戦略の決定、重要な業務執行に係る事項の決定並びに業 務執行の監督という取締役会の役割・責務と経営の基本方針など、当 社のコーポレート・ガバナンスについて規定

2024年6月30日時点



ESG | ガバナンスへの取り組み2/2:コーポレートガバナンス体制強化の変遷

コーポレート・ガバナンスのさらなる強化のため、「女性取締役の増員」、「スキル・マトリックスの再 検証」、「自己株式の消却」、「役員報酬体系の見直し」を実施

	2006年度~	2015年度~	2020年度~
機関設計	2006 持株会社体制へ移行	2018 任意の指名報酬委員会の設置	2021 CEO/取締役会議長の分離
独立社外取締役 の比率向上	2006 社外取締役選任 2014 2名に増員	2017 3名に増員、1/3以上確保 20	18 4名に増員
取締役会の 多様性確保		2018 女性取締役の選	任(社外取締役) 2022 女性取締役の増員(社内取締役) 2020 スキル・マトリックスの公表 2023 スキル・マトリックスの見直し
取締役会の 実効性向上		2015 コーポレートガバナンス・ガイド 2015 取締役会の実効性評価を開始 2019 外部機関	ラインの制定 関を活用した実効性評価を実施 2022 外部機関を活用した実効性評価を実施 2022 自己株式の消却
役員報酬設計	2007 ストックオブション制度導入 2009 役員退職慰労金制度の廃止		2021 譲渡制限付株式報酬及び中期連動型株式報酬に よる株式報酬制度の導入(ストックオプション制度の廃止) 2022 中期業績連動型株式報酬のKPIとして ESG指標(脱炭素)を追加 2024 中期業績連動型株式報酬のKPIとして (予定) ESG指標(エンゲージメント)を追加 社外取締役への株式報酬付与

メディカルシステム

ヘルスケア

バイオCDMO

LSソリューション

- ライフサイエンス
- 医薬品
- コンシューマーヘルスケア
- CRO(事業推進室)

FUJIFILM Healthcare Medical Bio CDMO LS Solutions Pharma CH CRO Office Electronics Business Imaging

富士フイルムのヘルスケア

「予防」「診断」「治療」の領域において、アンメットメディカルニーズへの対応や医療サービスへのアクセス向上などの社会的課題を解決することで、健康的な社会づくりに貢献していく

診断

予防

・画像診断システム

・メディカルIT

- 内視鏡
- 体外診断用医薬品(IVD)
- ・超音波システム



• ワクチン原薬

• 機能性化粧品

・サプリメント







治療

- バイオCDMO
- 細胞/遺伝子治療
- 細胞培養用培地
- 医薬品
- 低分子医薬CDMO





メディカルシステム:全体戦略

当社の強みであるAI・IT技術と、幅広い製品ラインアップの融合により、新たな価値を創造し、世界の 健康な暮らしを支えていく



超音波







(2018年誕生)





CT & MRI





内視鏡







IVD(体外診断)

* 非破壊検査機材(P52)は、2024年3月期より、メディカルシステム事業に移管されています。





メディカルシステム: 医療IT

PACS: 医用画像情報システム

[画像] **Picture**

[ファイル保管] **A**rchiving

Communication [通信]

[システム] **S**ystem

医用画像情報診断システム「SYNAPSE」シリーズ



- 当社が展開するPACS「SYNAPSE」シリーズは、ワールドワイドで約5,800施設に展開^(*1)
- 各エリアの有力病院で高い評価を受け、世界トップシェアを獲得^(*2)。

(*1) 2022年8月時点、「Synapse」シリーズ設置台数

(*2) Signify Research Report調べ

AI活用への取り組み

2018年4月に「REiLI* | コンセプトを発表。

当社の特長的なモダリティにAI技術を活用した製品を矢継ぎ早に投入することで、新たな価値を提供

*当社が開発を進める医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術のブランド名称。



メディカルシステム: 医療IT

〉AI技術を活用した製品の展開

2019年7月にAI技術を活用できるプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer」のリリース(日本国内)以降、各モダリティ とAI技術の掛け合わせによるソリューションを展開中



Healthcare



2019

	- 10
2021	٦ الـ
202	<i>- 11</i>

1983	世界初のデジタル画像X線システム FCR発売
1996	Image Intelligence発表
1999	医用画像情報システム(PACS) SYNAPSE発売
2008	3D画像解析システム SYNAPSE VINCENT発売
2015	統合診療支援プラットフォーム CITA Clinical Finder発売

REILI

2018年 ブランド発表

REILI×IT

SYNAPSF SAI viewer 臓器自動認識機能



REILI×超音波

iViz air 膀胱尿量自動計測機能を搭載



REILI×X線

FUJIFILM DR CALNEO AORO 手術用ガーゼAI認識機能



REILI×IT(CT用)

SYNAPSE SAI viewer 肺結節検出機能



REILI×内視鏡

CAD FYF 大腸ポリープ検出/鑑別機能



2021

2022



REILIXIT

SYNAPSE VINCENT 「脳解析」ソフトウェア



REILI×IT

SYNAPSE SAI viewer 肋骨骨折検出プログラム



REiLI×超音波

iViz air 血管判別アシスト機能



REILI×超音波

ARIETTA 850 DeepInsight AI技術活用ノイズ除去



REILI×CT

VINCENT Core VINCENT画像解析技術をCTコンソールに搭載





REiLI×内視鏡

CAD EYE 食道扁平上皮癌疑い検出 冒腫瘍性病変疑い検出



REILI×MRI

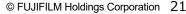
ECHELON Synergy スライスライン設定サポート機能



REiLI×ITマンモ

AMULET SOPHINITY プロジェクション機能"Positioning MAP"





メディカルシステム:X線画像診断

X線画像診断機器では設計・部材調達見直しにより大幅にコスト削減を実現し、収益性を向上

X線フイルム

- 全体の需要が緩やかに減少する中、シェアアップを図る。
- 新興国では出力フィルムの需要が堅調に推移。

X線画像診断機器

- > FCR Fuji Computed Radiography
 - 当社が世界で初めて開発し、1983年に発売。
 - 高いシェアを誇る。
- DR Digital Radiography
 - 独自の画像処理など差別性のある技術、特長ある 機能を搭載した製品を発売。

DR カセッテ







CALNEO AORO CALNEO CROSS

DR 回診車

DR マンモグラフィー



AMULET SOPHINITY

フィルム方式の場合



X線フィルムに画像を焼き 付け、暗室で現像

フィルムで読影

CR方式(Computed Radiography)の場合



イメージングプレート(繰り返し 使用は可能だが消耗品)に、X線画 像情報を蓄積し、デジタル化。 当社開発のものをFCRと呼ぶ。

DR方式(Digital Radiography)の場合

モニターで読影 フィルムへの出力も可能

X線を感知すると、フラットパネルディテ クターで電気信号が発生し、画像を生成。 フラットパネルディテクターは装置に組み 込まれており、消耗品は不要。

メディカルシステム: CT・MRI

高画質で優れた機能性を持つ、CT・MRIシステムを幅広いラインアップで提供

CT: Computed Tomography (コンピュータ断層撮影)

設置性に優れたコンパクトボディに加え、CT装置に求められる「被ばく低減」と「高画質化」を両立した製品をラインアップ。



[SCENARIA View |



[Supria Optica]

MRI: Magnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)

高画質、高機能化だけではなく、ワークフロー改善や被検者への安心性を追求したラインアップ。



[ECHELON Smart ZeroHelium |



[APERTO Lucent Plus]

Medical Healthcare

メディカルシステム:内視鏡

独自の画像処理技術を活かした差別化製品の拡販により売上成長を目指す

内視鏡

写真事業で培った画像処理技術や、自社開発のAIを活かし、競争力のある高付加価値製品を投入

消化器内視鏡システム









ELUXEO



LED光源搭載の フラッグシップモデル (海外市場を中心に展開)

6000システム



スクリーニング検査を メインとする検診センターや クリニックをターゲットとした LED光源搭載の普及価格帯モデル

技術

Multi-Light Technology

照射した光と画像処理を組み合わせることで、観察に適した画像を作り出す技術



Linked Color Imaging

血管や表面構造などの観察に適した画像 を表示

赤みを帯びた色はより赤く、白っぽい色

はより白くなるように色の拡張・縮小を

行い、粘膜の微妙な色の違いを強調







CADEYE

支援・管理システム

内視鏡画像診断支援システム

内視鏡診断支援機能「CAD EYE」を搭載したプログラムを インストールすることで使用可能



内視鏡情報管理システム

院内のさまざまなシステムと連携し、つながる医療を実現 する内視鏡部門のためのシステム



対策型胃内視鏡検診に貢献するクラウトサービス

胃内視鏡検診実施施設と二次読影機関の間で検診情報を安 全に共有できるクラウドサービス。

技術

- 画像処理
- 機械学習
- ・自然言語処理



Powered by REiLI

メディカルシステム: 超音波

従来の携帯型を中心とした製品ラインアップに、富士フイルムヘルスケアが強みを 持つ据置型が加わり、幅広い領域をカバーし成長を加速

超音波

- 富士フイルムでは、POC*向け携帯型超音波画像診断装置の分野において高い開発力を持ち、幅広い製品を展開
 - * Point Of Careの略。患者の目前や在宅で検査を行い、治療方針の判断・処置を行うこと
- 富十フイルムヘルスケア*では、据置型超音波画像診断装置の製品が充実
 - *富士フイルムヘルスケアは2024年7月1日に富士フイルム、及び、国内関連会社に統合



メディカルシステム: IVD(体外診断)

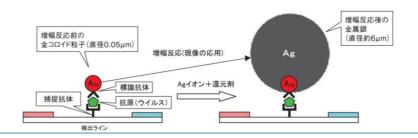
事業領域拡大とエリア拡大により、売上・利益を大幅に成長させる

IVD(体外診断)

- 診察室や病院のベッドサイドなど、より患者に近い場所で行われる検査(POCT: Point of Care Testing)タイプのIVDシステ ムを免疫学POCT市場や生化学POCT市場に提供。
- 2017年度に和光純薬の臨床検査薬事業が加わり、IVD製品群が拡充するとともに、国内ほぼすべての病院へのアクセスが 可能に。
- 動物ヘルスケアでは、「富士ドライケム」や動物ホルモン検査「イムノAU10」などのPOCTシステムや、動物検体受託検 査など、幅広い分野に展開。

超高感度イムノクロマト法迅速診断システム 「IMMUNO AG」シリーズ

写真の現像で用いる銀塩増幅技術の応用により、検体中のウイルスや細菌に反応する抗体標識の周りに銀を結晶化させることで、 一般的なイムノクロマト法診断薬に比べて、標識のサイズが直径約100倍となり、判定ラインの視認性を飛躍的に向上させる事に成功。発症初 期などウイルス等が少ない段階における検出精度を大幅に向上。 COVID-19の他、インフルエンザ、アデノウィルス、RSウィルス、溶連菌、マイコプラズマなどの検査キットを発売中。





[IMMUNO AG2 |

メディカルシステム:非破壊検査機材

メディカルシステム事業での運営により、工業用・医療用製品の開発・製造・販売面でのシナジーを創出

非破壊検査機材

- 非破壊検査とは、機械部品や構造物などの内部の状況を、対象物を破壊することなく確認できる検査技術
- X-レイフィルムは、単に医療分野だけでなく、X線が物質を透過する性質を利用して、産業用の分野にも使用される



Aerospace

- 溶接検査 溶接きず(ブローホール、ポロシティ等)の大きさを簡単に計測
- 鋳造検査 厚み差がある鋳造部品においても、厚いか所・薄いか所の双方 に最適な画像処理を実現

Maintenance

配管の減肉・腐食検査 配管厚みを、どんなアングルでも、かつ、保護材が巻かれている 配管でも、簡単に厚みの計測が可能







Automotive

エンジン鋳造部品、ターボチャージャーなどの自動車部品を検査





Infrastructure

・コンクリート構造物の穿孔検査 橋梁などのコンクリート内部の電線、ガス管などの位置を把握し、 穿孔箇所を調査

メディカルシステム:新興国向け健康診断サービス事業の拡大



- *1 Source: WORLD BANK
- *2 Source: "GLOBOCAN 2020" database compiled by the International Agency for Research on Cancer

なぜインドは低いのか?

一つの要因として

健康診断の文化が定着していない がんの早期発見・治療を実現できていない*

(*入手した情報に基づく当社の見解)



がん検診をはじめ生活習慣病検査サービスを提 供する健診センター

AI技術やビッグデータを用いて受診者へのタイムリーなフィードバック Phase

経済産業省が推進する「インド太平洋地域サブライチェーン強靭化事業」に採択されている。本事業では、ブロックチェーン技術を用いたデータ 連携基盤を構築し、NURAで得られた健診データを、AI技術を用いて分析し受診者へのフィードバックなどに活用する仕組みを実証する。

他医療機関とデータ連携・共有による新たなサービス

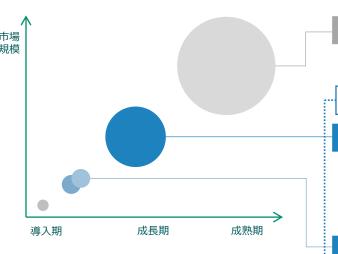
検診文化の定着



FUJIFILM Healthcare Medical Bio CDMO LS Solutions Pharma CH CRO Office Electronics Business Imaging

バイオCDMO: 事業領域

抗体医薬等の医薬品に加え、次世代のバイオ医薬品の開発発展により、CDMOへの委託需要がさらに拡大



再生医療 細胞治療 遺伝子治療 組織移植 細胞移植 ex-vivo in-vivo

低分子医薬品

目的とする化合物を化学合成して作られる医薬品。製造コストが比較的安価

当社バイオCDMO事業

抗体医薬品 (CDMO市場でのCAGR(FY18-FY28)+11%)

- 細胞などに薬効成分であるタンパク質を作らせて製造
- 製造が難しい一方、副作用が少なく、低分子医薬品では治療が困難であったがんや希少疾患への高い効果が期待できる
- 設備投資や品質管理にかかるコストが低分子医薬品に比べ高額

細胞治療薬・遺伝子治療薬(CDMO市場でのCAGR(FY18-FY28)+29%)

- ・ 細胞治療:細胞そのものを投与して治療効果が発揮される医薬品
- ex-vivo遺伝子治療薬:
 - 標的細胞を取得後、治療に寄与する遺伝子を導入し、その細胞を投与することで効果を発揮する医薬品
- in-vivo遺伝子治療薬: 遺伝子を搭載したベクターや、特定の細胞・組織で増殖するウィルスを投与することで効果を発揮する医薬品

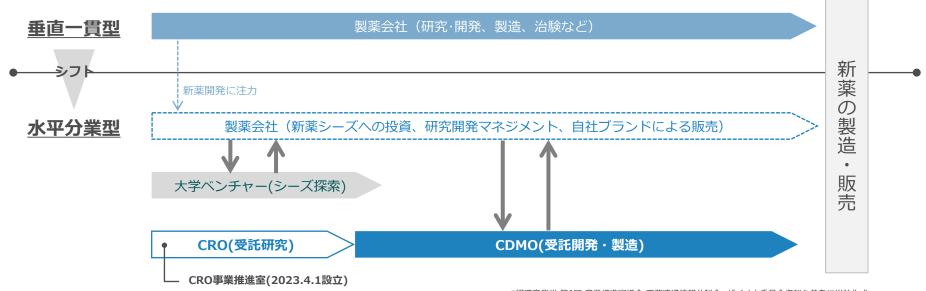
バイオCDMO: CDMOビジネス成長の背景

バイオ医薬品業界では水平分業が進み、CDMOビジネスが伸びている

CDMO: Contract Development and Manufacturing Organization (医薬品開発製造受託機関)

生産プロセスの開発受託及び製造受託を行う会社・組織。

生産プロセス開発や安定性試験、治験薬の開発・製造、市販薬の製造など幅広いサービスを製薬企業などに提供する。



Bio CDMO Healthcare

バイオCDMO: 当社の強み

顧客から信頼されるパートナーとして医薬品の生産プロセス開発・製造をサポート "Partners for Life"を追求する



新薬の開発

医薬品の生産プロセス開発・製造

治療薬の提供



FUJ!FILM

Partners for *Life*

Advancing tomorrow's medicines



"信頼される真のパートナー"としての当社の強み

- 潤沢な供給能力
- 高効率・安定的な生産
- 各種レギュラトリーへの対応実績(トラックレコード)

CDMOに求められるもの

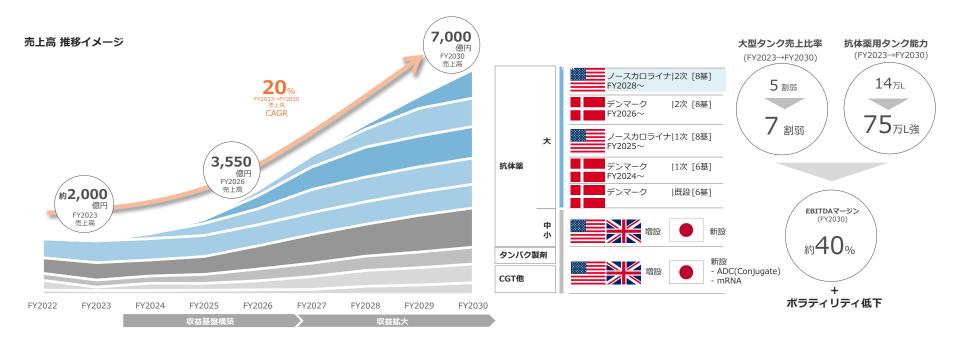
- 多様なパイプラインに対するEnd-to-Endサービス提供
- 新製品の早い技術移転によるいち早い上市実現
- 臨床開発ステージや需要変動に対するアジリティ

- 積極投資による能力拡張
- 大型製造設備(デンマーク拠点)で98%超のバッチ成功率
- 各国規制当局の杳察に対する豊富な経験・知見
- 多様なモダリティxクリニカルステージに対応する中小~大型生産力
- KojoX:共通設備によるスケーラビリティ、スピーディな技術移管
- 顧客に近い欧米でのミラー型の生産体制

Bio CDMO Healthcare

バイオCDMO:製造能力拡大計画

各モダリティおよび各地域において大規模な設備投資を行い、バイオCDMO事業の成長を加速させる



 Healthcare
 Medical
 Bio CDMO
 LS Solutions
 Pharma
 CH
 CRO Office
 Electronics
 Business
 Imaging

バイオCDMO: グローバル製造開発受託体制

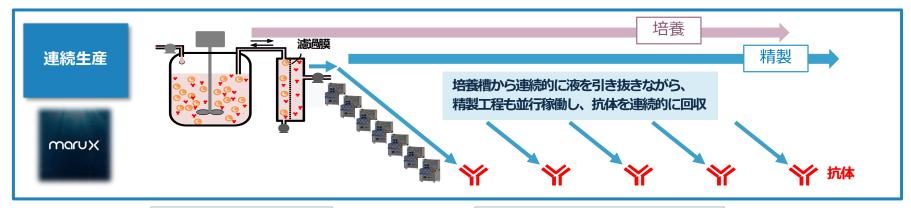
主要市場の欧米拠点において、治験薬から上市品、生産プロセス開発から原薬製造・ 製剤化・パッケージングまで対応

		北米				欧州		アジア		
2024年6月現在 発表済み案件 *低分子医薬品を除く ()内は主な増強設備の稼働時期		ノースカロライナ 米国	テキサス米国	カリフォルニア 米国	ボストン 米国	ノースカロライナ 米国	ウィスコンシン 米国	ビリンガム英国	ヒルロッド デンマーク	富山日本
原薬:抗体薬	大型設備 (=20,000ℓ)					● (2025年)			● (一次:2024年) (二次:2026年)	
	中小型設備	•	•					● (2026年)		● (2027年)
原薬:組換えタ	ンパク製剤	•						● (2028年)		
原薬:遺伝子治	療薬		•		● (2024年)			● (2027年)		
原薬:細胞治療	薬			● (2025年)			● (2026年)			
原薬:ワクチン		•	•					•		● (2027年)
製剤			•	•		● (2025年)			● (2024年)	● (2027年)
組立・ラベル貼付・梱包						● (2025年)			● (2024年)	● (2027年)

Bio CDMO Healthcare

バイオCDMO:連続生産システムとは

連続生産技術において、業界初となる 「培養~精製までの一貫連続生産可能な500Lスケールの生産設備」を開発





500L 培養槽

自動連続精製装置:Symphon X



自動連続精製装置 (7台を連結)

Bio CDMO LS Solutions Pharma CH CRO Office Electronics Business Imaging Healthcare

バイオCDMO:連続生産システムの特徴

	当社連続生産システムの特徴	バッチ生産
品質	バッチ生産と比べ高純度となる。バッチ生産では困難な不安定な抗体を製造可能	・ 不安定な抗体は製造が困難
生産量	・ 生産日数を調整することで、 小〜大ロットまで同一設備で製造可能	• ロットサイズ毎に異なる 製造設備への切り替え が必要
設備投資・製造コスト	 バッチ生産と比べて、設置スペースを25~75%削減 設備投資額を同25~75%削減 抗体の単位当たり製造コストを同25%削減 (当社調べ) 	• 製造量に応じたサイズの 培養槽への逐次投資が必要
製造技術	「細胞密度自動制御システム」と「連続的な培養状態の計測技術」が必要で自社開発済自動連続精製装置*においても「自動制御システム」を自社開発済	-
培地	• 連続生産に適した培地が必要で、当社は高品質な専用培地を開発済	-

(*自動連続精製装置や計測技術はバッチ生産にも活用可能)

バイオCDMO:連続生産プラットフォーム技術の開発ロードマップ

米国・英国において 2,000ℓのGMP生産施設を建設中 20,000ℓ製造の前培養への適用(N-1灌流培養)により、さらなる生産性向上を目指す

連続生産技術の開発ロードマップ

2種目の抗体で 実証データ取得

・ 高い牛産性と品質、 汎用性と堅牢性を実証



cGMP機導入



2,000ℓ製造 生産培養への適用



投資抑制 COGS削減 品質向上※

※未成熟糖鎖の減少

抗体収量向上 生産期間短縮 年間バッチ数増

500 ℓ 実証プラント導入

・ 業界初の一貫連続生産で 実証データ取得



20,000ℓ製造 前培養への適用 (N-1灌流培養)



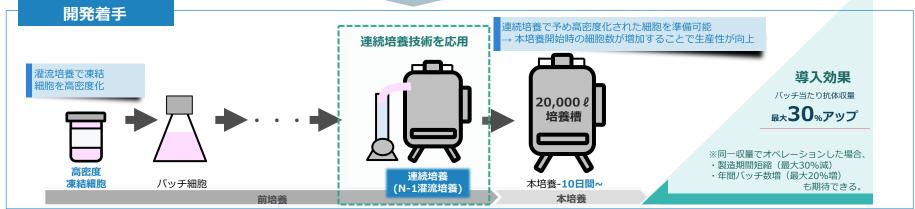
FY2020 FY2023



Bio CDMO Healthcare

バイオCDMO:連続培養技術の大型培養槽(20,000ℓ)製造への適用





LSソリューション(ライフサイエンス)

細胞治療、及び新薬の研究開発・製造の領域でソリューションを提供し、 アンメットメディカルニーズへの対応に貢献する

細胞治療プロセス開発・製造受託 事業

- Fujifilm Cellular Dynamics, Inc.(FCDI) のiPS細胞 **をコア**に、富士フイルム独自のエンジニアリング技 術やグループ各社が持つ技術リソース・設備を活用 し、シナジーを創出する
- それをプラットホームとして、協業パートナーとの アライアンスによる**効率的な研究開発を推進すると** ともに、細胞治療薬の開発・製造受託ビジネスを推 進する



GMP製造施設:i-FACT (米国ウィスコンシン州マディソン)



医薬品の研究開発・製造支援 事業

- 創薬支援用ヒトiPS細胞をはじめとする細胞・培地・ サイトカイン・試薬等関連製品の提供を通じ、効率的 な新薬の研究開発から製造プロセスに貢献
- •特に培地は、抗体薬の需要増にあわせて需要が大きく 伸長









iPS細胞

培地

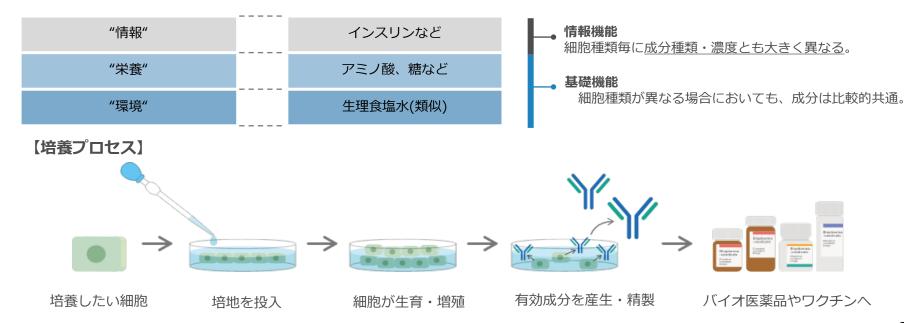
蒸

サイトカイン

LSソリューション(ライフサイエンス:培地)

培地

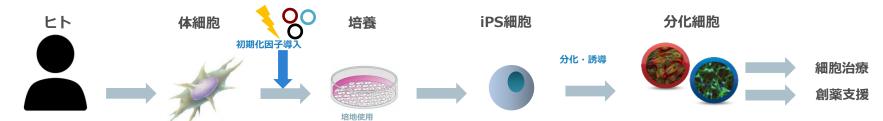
細胞育成と細胞から産生される最終目的物の生産を実現するために不可欠な重要原料。 「環境+栄養+情報」を細胞に提供する機能を持つ。 人それぞれ味に対する嗜好があるように、細胞や細胞の生産物別に最適な組成が異なる。



LSソリューション(ライフサイエンス:培地)

iPS細胞((iPS=induced pluripotent stem)

ヒトの皮膚や血液由来の体細胞に、少数の初期化因子(遺伝子)を導入することにより人工的に作られ、ほぼ無限に 増殖する能力(自己増殖能)と、様々な組織や臓器の細胞に分化する能力(多分化能)をもつ人工多能性幹細胞のこと



【主な細胞の比較】

	自家細胞	他家細胞(細胞提供者(ドナー)から採取した細胞)			
		体性幹細胞	体細胞	多能性幹細胞	
定義	患者様本人の細胞	生体内にあり、新しい細胞に分化し て組織を修復、再生する能力のある 細胞	最終分化して体の組織や臓器となっ た細胞	自己増殖能 及び、いろいろな細胞に 分化できる 多分化能 をもつ細胞	
具体例		骨髄由来幹細胞、 間葉系幹細胞(MSC) 等	T細胞、皮膚細胞、NK細胞 等	iPS細胞 (体細胞に遺伝子導入し作成)	
大量製造	-	限定的	限定的	可能(増殖能が高い)	
製造コスト	高い	中程度	中程度	量産技術が確立すれば 低コスト	

LSソリューション(ライフサイエンス:培地)

- iPS細胞は、当社技術で量産技術を確立することにより、安定製造・安定供給・低コスト実現が可能
- ・次世代の治療モダリティ・創薬支援における重要な材料にもなる

細胞治療分野

業界の課題

細胞供給及び品質の安定化

- ①ドナー不足による原料細胞の供給不安定
- ② 原料細胞のドナーの個体間差による細胞品質 の不安定

創薬支援分野

業界の課題

新薬開発の**効率化、コスト削減**

- ①疾患メカニズムが複雑で非臨床試験において 適した評価系がないケースがある
- ②非臨床試験(動物試験)では認められなかっ た毒性が、臨床試験で認められ、開発中止と なるケースがある(**動物とヒトの差**)

解決策

iPS細胞を活用したモダリティ

- ①iPS細胞は無限に増殖するため安定供給可能
- ②同一のiPS 細胞から製造可能で、製造・品質 も安定

解決策

ヒト由来iPS細胞を使った創薬支援

- ①患者様由来体細胞から作成したiPS細胞によ る疾患メカニズム解明
- ②臨床試験前に疾患特異的iPS細胞を用いた 毒性試験、薬効試験

LSソリューション(医薬品)

- 「治療」領域を担う中核事業として、医療用医薬品の研究開発・生産・販売を行っている。
- ・ 40年以上にわたる抗感染症領域に対する知見を生かし、近年は、国内でペニシリン系抗生物質の合成 および無菌製剤の製造を行う唯一のメーカーとして、製造受託にも注力

低分子医薬品

20世紀初頭に開発された、目的とする化合物を化学合成して作られる医薬品

	低分子医薬	バイオ医薬(抗体医薬)
分子量	小さい(多くは500以下)	非常に大きい(数千~約15万)
構造	安定した化学構造	複雑で不均一性がある
製造方法	化学合成	細菌や微生物を用いて生産
製造・開発費	低い	非常に高い
剤形	錠剤だけでなく多様	主に注射剤

抗菌薬

細菌を死滅させたり、増殖を抑制するための医薬品

	当社製品
ペニシリン系	ペントシリン®
セフェム系	トミロン®、ラリキシン®
キノロン系	オゼックス®、パシル®





Pharma Healthcare

LSソリューション(医薬品)

脂質ナノ粒子 (LNP)やリポソームなどのDDS技術を用いた製剤のプロセス開発・製造受託事業を推進

既存薬のみならず、次世代医薬品の核酸医薬品や遺伝子治療薬への応用展開も目指して、DDSの研究開 発に取り組む

リポソーム製剤|脂質ナノ粒子(LNP:Lipid Nanoparticle)

細胞膜や生体膜の構成成分である有機物のリン脂質などをカプセル状に した微粒子(リポソーム)の中に薬剤を内包した製剤

DDS素材

ドラッグ・デリバリー・システム(DDS: Drug Delivery System)

必要な量の薬物を、必要な部位に、必要なタイミングで届ける技術

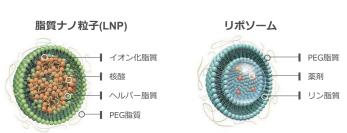
◆ 少量の薬物投与で効果の増強と副作用の軽減が期待

リポソーム製剤関連の当社パイプライン

2024年6月時点

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発 段階
FF-10832	進行性固形がん治療薬(ゲムシタビン*1リポソーム)	注射	米国	PhI
FF-10850	進行性固形がん治療薬(トポテカン*2リポソーム)	注射	米国	PhI

- *1 イーライリリー社が開発した抗がん剤で、肺がん、膵がん等に使用。 2022年5月より、米国Merck&Co.,Inc.と共同で、免疫チェックポイント阻害剤「キイトルーダ®」との併用試験(Ph2a)を米国で開始。
- *2 英国グラクソ・スミスクライン社が開発した抗がん剤で、現在は、スイスのノバルティス社が販売。 卵巣がん、小細胞肺がん、子宮頚がんなどに使用。





Healthcare

LSソリューション(コンシューマーヘルスケア)

2000年代における「第二の創業」と化粧品事業の立ち上げ

写真フィルムで培った技術の棚卸しを行い、今後の成長領域として新たに化粧品・サプリメント市場に参入







サプリメント



2006

機能性スキンケア化粧品「エフ スクエア アイト発売 通信販売スタート



2007

スキンケアシリーズ 「アスタリフト | 発売 店頭販売スタート





2007 サプリメント「メタバリア」誕生。



Healthcare

LSソリューション(コンシューマーヘルスケア)



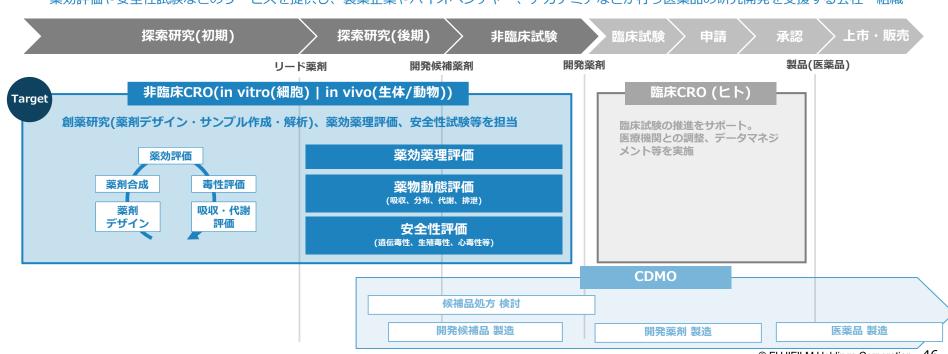
Healthcare CRO Office

CRO(事業推進室)

創薬支援CROの全体戦略を立案・推進する「CRO事業推進室」を2023年4月1日に新設し、新たな医薬品のシーズ探索や 有効性・安全性評価などのサービスを提供。製薬企業をはじめとする顧客の創薬研究を強力にサポートしていく

CRO: Contract Research Organization (医薬品開発業務受託機関)

薬効評価や安全性試験などのサービスを提供し、製薬企業やバイオベンチャー、アカデミアなどが行う医薬品の研究開発を支援する会社・組織



半導体材料

エレクトロニクス

アドバンストファンクショナルマテリアルズ

- ディスプレイ材料
- 産業機材
- ファインケミカル
- 記録メディア

半導体市場は成長が続く中、コロナ禍による半導体供給不足が発生し、サプライチェーンの課題が顕在化。 経済安全保障の観点から、国家主導の産業政策により、半導体工場の自国誘致や国産メーカー育成の趨勢。

- 半導体市場の成長は更に加速
 - アフターコロナのデジタル革命

今後エッジコンピューティング・アプリケーション・デバイス(自動運転等)での新たな半導体需要の成長が見込まれ、米韓台が市場を席巻する形 で引き続き右肩上がりで成長(2030年約100兆円)。

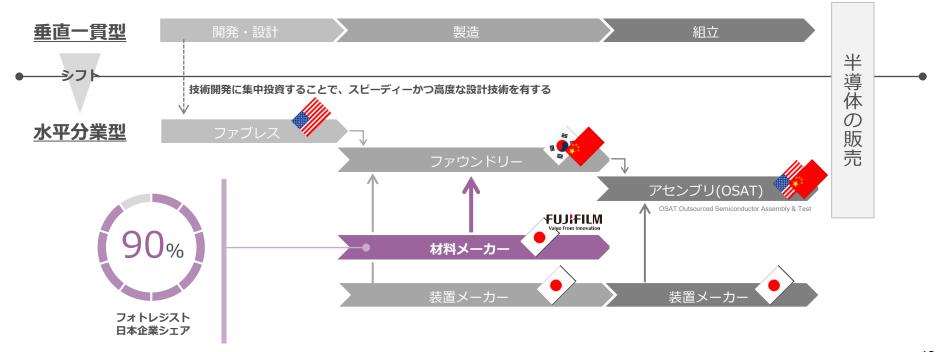
- ・半導体材料の需要増
 - 半導体市場の成長CAGR10.1%(2023~2030年: OMDIA)と同等の拡大が見込まれる。
- 経済安全保障の観点から、新次元の国家間の産業政策競争が激化

米中技術覇権対立や半導体供給不足等を背景に、国家戦略として先端半導体の国産化や輸出管理等を強化し、安定供給体制を整備。



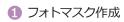
巨額の設備投資がかかる半導体業界は、2000年代から水平分業が拡大した

半導体産業で日本企業の強さを発揮する"材料"と"装置"



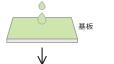
半導体の製造過程を支える材料を幅広く展開

「前工程」



ガラスでできたフォトマスクの基板に フォトマスク用レジストを塗布。

フォトマスク用レジスト



電子ビームを当ててフォトマスクの基 板に回路パターンを焼き付ける。



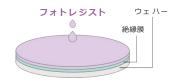
不要になったフォトマスク用レジ ストを剥離。



完成したフォトマスク

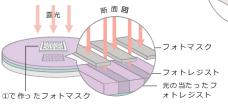
フォトレジストを ウェハーに塗布

半導体の十台となるウェハートに電気を诵さない 絶 縁膜、さらにその上にフォトレジストを塗布。



3 露光

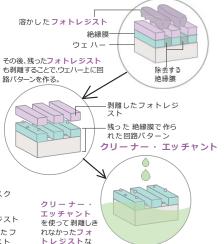
①で作ったフォトマスクを②のウェハーにかざし、そ の上から光を当てる(露光)。これにより、フォトレ ジ ストに回路パターンを焼き付けていく。



4 現像・エッチング

どを取り除く。

③で光の当たった部分を現像液で溶かし、その下の絶縁膜 を除去(エッチング)。



■ ①フォトマスク用レジスト

回路パターンの"金型"となるフォトマスク の製造に必要な材料。

■ 2フォトレジスト

回路パターンを作成する工程に不可欠な 感光性ポリマー材料。



■ 40リーナー・エッチャント

エッチング後にゴミなどを除去する各種洗 浄液など。





Before (left) and after (right) cleaning

金属を付着

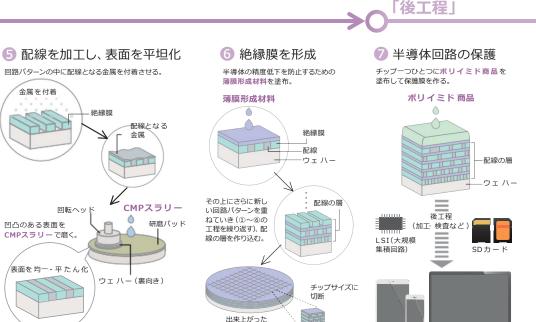
凹凸のある表面を

CMPスラリーで磨く。

表面を均一・平たん化

絶縁膜

半導体の製造過程を支える材料を幅広く展開



ウェハー

完成

■ GCMPスラリー

固さの異なる配線や絶縁膜が混在する半導 体表面をミ クロン単位で均一・平滑にする研磨剤。

6薄膜形成材料

低誘電率の絶縁材料。配線間の絶縁部が狭く なること によって発生する半導体の動作速度の低下などを防ぐ のに使用される。

■ のポリイミド商品

高い耐熱性や絶縁性を誇る化合物で、半導体の保護膜 として使用される。また、高速・高機能化するICチッ プ の再配線層材料としても使われ、用途を拡大して いる。

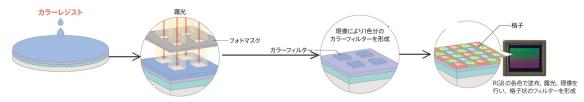
▮ プロセスケミカル

半導体製造の洗浄・乾燥工程で異物を除去したり、 エッチング工程にて金属や油脂などを取り除くために 使用する化学薬品。

イメージセンサー用カラーフィルター材料

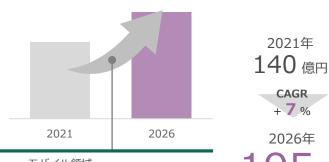
デジタルカメラやスマートフォンに搭載されているイメージセンサーに用いるカラーフィルターを製造するために必要な 着色感光材料製品

土台となるウェハー上にカラーレジストを塗布する。



(当社調べ)

〉 イメージセンサー用カラーフィルター材料市場



- モバイル領域
- ファクトリーオートメーション(FA)
- 監視(セキュリティ)
- IoT

当社シェア及び製造拠点

WCM -Wave Control Mosaic

高い品質基準を求められる当製品を安定的に生産・提供し、 トップメーカーとしての供給責任を果たす。



エレクトロニクス(アドバンストファンクショナルマテリアルズ(AF材料))

アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業(AF事業)の発足

3つの事業部門の統合と、当該ディビジョナル・ラボ*の統合を実施し、既存事業の利益を最大化させると ともに、エレクトロニクス領域の新規材料事業創出を強化・加速する

*ディビジョナル・ラボ:ビジネスに直結した研究開発を行う組織



既存事業の利益最大化

- ・各事業の人材・ビジネス資産を一元化し、近接領域での相乗効果を創出
- 積極的な人材ローテーションによる強い人材の育成
- ② 新規材料事業創出の強化・加速
 - 各事業が持つコア技術・ビジネス構築力の知識・知見を共有化し、新規創出の総合力を強化

エレクトロニクス領域の 成長加速

	変更前		変更後	☆│2024年6月末より
エレクトロニクス			エレクトロニクス	
	開示セグメント名			開示セグメント名
高機能材料戦略本部	十 半導体材料		エレクトロニクス戦略本部	半導体材料
	- ディスプレイ材料 - その他Iレクトロニクス材料 産業機材 - ファインケミカル	• =	B事業部門の統合 ディビジョナル・ラボの統合 - ディスプレイ材料研究所・高機能材料研究所	アドバンストファンクショナル マテリアルズ(AF)

エレクトロニクス(ディスプレイ材料)

当社の主要製品

偏光板

液晶セル

偏光板

偏光板

発光層



偏光板保護フィルム(プレーンタック) 液晶方式の違いに関わらず使用される。

補償フィルム

〉WVフィルム

TNモードの視野角を広げるための補償フィルム。当社がシェア100%

〉 VAフィルム

VAモードの偏光板において視野角やコントラストなどを向上させる機能を持つフィルム

〉IPS用フィルム(Z-TAC)

IPSモードの偏光板において斜め方向から画面を見た際の色味変化を抑える機能を持つフィルム

液晶層 ガラス基板 補償フィルム PVA(ヨウ素ドープ延伸PVA) 偏光板保護フィルム ディスプレイ背面 バックライト 視認側 カバーガラス 偏光板保護フィルム PVA(ヨウ素ドープ延伸PVA) 偏光板保護フィルム 反射防止フィルム タッチセンサー 封止層 EIL(電子注入層) ETL(電子輸送層)

HIL(ホール注入層) TFT基盤

ディスプレイ前面

偏光板保護フィルム

PVA(ヨウ素ドープ延伸PVA) 補償フィルム

ガラス基板

有機ELディスプレイ向け

偏光板保護フィルム(プレーンタック)

反射防止フィルム

有機ELディスプレイの発光層で外光が反射されコントラストが低下することを防止するフィルム

エレクトロニクス(ディスプレイ材料)

既存分野(液晶パネル用)の製品により安定的な収益を確保、 成長分野(有機ELパネル等)・新規分野向け製品の拡販で事業を成長

既存分野

主力製品である7-TAC、VAフィルム、プレーンタックで液晶パネル用のフィルム需要を捉える

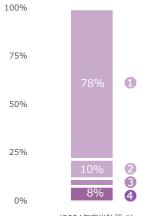
成長分野

今後さらに有機ELの採用拡大が見込まれるスマホ、タブレット、ノートPC、テレビ向けに反射防止フィルムを拡販

新規分野

AR/VRメーカー・モビリティメーカーに対し、課題解決に繋がる複数の新規材料を提供

最終製品の面積割合と使用される当社製品の種類



	プレーン タック	WVフィルム (TNモード*1)	VAフィルム (VAモード*²)	Z-TAC (IPSモード*³)	反射防止 フィルム
① テレビ	•		•	•	•
2 モニター	•	•	•	•	•
3 ノートPC	•			•	•
4 中・小型(タブレット)スマホ)	•	•		•	•

Twisted Nematic (ねじれ配向)

Vertical Alignment (垂直配向)

(2024年度当社調べ)

In-Plane Switching(水平配向)

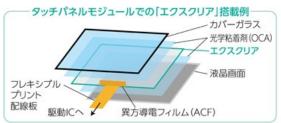
アドバンストファンクショナルマテリアルズ

エレクトロニクス(産業機材)

当社技術を生かした高付加価値製品を新規に開発し事業化を推進

エクスクリア

タッチパネル用センサーフィルム ベースとなる透明なPETフィルムの上に銀でパターニングを行うことで、高い透明性 と屈曲性を両立。低抵抗で、中大型のタッチパネルにも対応



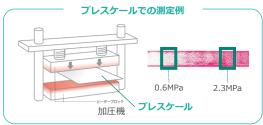


プレスケール

目に見えない圧力と圧力分布を簡単に可視化できるフィルム 圧力を受けると赤く発色し、発色濃度によって圧力の強弱を測ることができる



圧力帯に応じて 複数のラインナップを用意

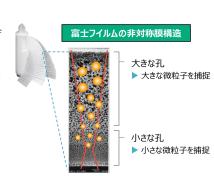


ミクロフィルター

独自の非対称構造を持ったポリスルホン膜(PSf 膜)を使用した精密ろ過用フィルターで、高流 量・ロングライフを実現

飲料・電子部品・液晶パネルなど幅広い業界で お客様の生産性向上・製品の品質向上に貢献









プレスケールモバイル

モバイル端末でプレスケールを読み取るだけで、誰でも簡単 に圧力を定量化・データ化できるアプリ

DXによって属人的な匠の技の継承や仕組み化を実現した好 例として、国際的なデザイン賞も受賞

プレスケールモバイル クラウドシステム

プレスケールモバイルと連携することで検査データを集積し、 より高度なデータの利活用を支援するクラウドシステム

アドバンストファンクショナルマテリアルズ エレクトロニクス(ファインケミカル)

富士フイルム和光純薬の持つ先進の技術開発をベースに 顧客ニーズに応える競争力の高い、高機能・高品質な製品を提供

ライフサイエンス

医薬品製造向け原料

バイオ医薬品の研究開発や製造において、精製 などで使われる濃度調整(バッファー)や溶解度 向上、細胞分散、安定化等の用途で添加剤とし て使用

- 抗体医薬品原料
- 核酸・mRNA医薬品原料
- バイオプロセシング用溶液

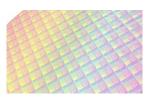


エレクトロニクス

レジスト材料

回路パターン形成のために必要なフォトレジス トは、レジストポリマーや光酸発生剤などが使

- レジスト材料 レジストポリマー、光酸発生剤(PAG)
- ディスプレイ材料





環境

環境関連材料(分析試薬)

環境や健康に及ぼす影響への関心の高まりから、 世界的に有機汚染物質の排出削減に向けた動き が進んでいることを背景に、検査、分析需要が 高まっている

- カーボンニュートラル関連材料
- 有機フッ素化合物(PFAS)関連材料





アドバンストファンクショナルマテリアルズ

エレクトロニクス(記録メディア)

1959年に日本初の業務用ビデオテープを開発して以来、世界中のテープドライブメーカーに対して 高性能で信頼性が高い製品を提供

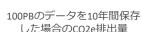
データストレージ用磁気テープ

- 当社独自技術に基づく「バリウムフェライト(BaFe)磁性体」を採用したデータストレージ用磁気テープが、 市場から高い評価を獲得。
- 世の中全体におけるデータ量の飛躍的増加、クラウドの普及に伴い、磁気テープが見直されており、今後も データアーカイブ分野での一層の活用が期待される。









100% Tape vs 100% HDD

-95%



低コスト

10年間でかかる総コスト費用

LTO Technology vs All Disk



Save Data 安心・安全



- オフライン管理性
- 高い信頼性
- 長期保管性









ビジネスソリューション

ビジネスイノベーション

オフィスソリューション

グラフィックコミュニケーション

ビジネスイノベーション

ビジネスソリューション

業種・業務の特性に合わせた、システムインテグレーションやクラウドサービスによるソリューション、複合機管理や基 幹業務プロセスの役務代行(BPO)、ITアウトソーシング(ITO)など、課題解決型のソリューション・サービスを提供









オフィスソリューション

強固なセキュリティを強みとする複合機・プリンターや消耗品の販売、保守サービスを通じて、ドキュメントに関わる オフィス向けソリューションを提供 FUJIFILMブランド複合機・プリンター











グラフィックコミュニケーション

デジタル印刷システム、アナログ印刷用機材、DX支援サービスなどを最適に組合せ、印刷物製造およびグラフィックを 使ったコミュニケーション領域にトータルソリューションを展開

オフィスから商業印刷・産業印刷まで全領域をカバーできる唯一の「ソリューションパートナー」として事業展開する戦略に基づき、グラフィックコミュニケーションを「ビジネスイノベーション」へ組み替え

グラフィックコミュニケーションの市場環境及び当社の機会

- 1 大ロットのアナログ印刷の総需要減少に先手を打ち、 グローバルでの生産ライン統廃合を実施済み
- 2 刷版市場におけるグローバルトップシェアの 圧倒的な顧客基盤をアセットとして保有
- 多品種・小ロット印刷やカラー印刷の増加による 高速デジタル印刷やDX化のニーズ拡大

オフィスから商業印刷まで全領域をカバーできる唯一の 「ソリューションパートナー」として、お客様のデジタルシフトを支援

狙い

ゼログラフィー・インクジェットの両技術及び それらのシナジーに基づくデバイス・DXソリューション の展開による、お客様課題に対する高い解決力の発揮

組(八2)

グラフィックコミュニケーションと旧ビジネスイノベーションの顧客基盤・チャネルの相互活用による、 販売シナジーの最大化

「価値再構築事業」から「基盤事業」へのシフト



ビジネスイノベーション(ビジネスソリューション)

End to EndでのDX推進によりお客様の業務変革を行いCHX(Customer Happy Experience)を実現する



*VAR (Value Added Reseller) : 他社の商材と自社独自の付加価値を組み合わせたサービス商材

BPO (Business Process Outsourcing) : 自治体・公共機関/企業向けに基幹業務プロセスの役務代行を提供するサービス

beat Guardia : ネットワーク環境を提供するサービス

: オフィスの出力状況を可視化して最適な出力環境を提案するサービス

ビジネスイノベーション(ビジネスソリューション)

❷基幹ソリューションビジネス(Dynamics 365)



Microsoft Dynamics365をはじめとするクラウドアプリケーション群を核とした基幹DXソリューションを展開。 豪Microchannel社の買収を通して中堅・中小企業を主要顧客とした基幹DXビジネスの海外展開を本格化。



FUJ!FILM

富十フイルムデジタルソリューションズ(株)

日本



FUJIFILM MicroChannel Services Pty Ltd

Australia · New Zealand Singapore · Thailand

Microsoft Dynamics365、SAP、Sageなどグローバルで展開する 基幹システムパッケージを含む

主要基幹システムの販売・導入支援

導入から運用までワンストップで対応。すべての利用者がデジタルで 業務を扱える

End to Endでのサービス提供

受當歷

100+

Microsoft Solution Partner (旧 Microsoft Dynamics 365 Gold Partner) SAP Partner of The Year - ANZ, Excellence Award ANZ - Sage Intacct ほか

各種基幹システムの販売・導入支援事業に関する確かな 実績と強固な顧客基盤、高度な技術を備えたIT人材が強み

ビジネスイノベーション(グラフィックコミュニケーション)

グラフィックコミュニケーション事業

デジタル印刷システム、アナログ印刷用機材、DX支援サービスなどを最適に組合せ、印刷物製造およびグラフィッ クを使ったコミュニケーション領域にトータルソリューションを展開

ブランドオーナー向け

ブランドオーナー向け DXソリューション

- 請求・支払い業務効率化
- 販促/マーケティング最適化

グラフィックコミュニケション領域にトータルソリューションを展開

印刷業向け

スマートプリンティング DXソリューション

- アナログ・デジタルハイブリッド印刷生産ワークフロー
- ロボティクスを活用した印刷工程間作業のデジタル化

デジタルプリンティングソリューション

JetPress



アナログプリンティングソリューション

刷版材料(PS版、CTP版)

製版材料

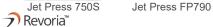
フレキソ版

• アナログインク

SUPERIA

Acuity







Acuity Prime







アナログ+デジタルの ハイブリッドソリューション

• インクジェットImprinting Bar



ビジネスイノベーション(グラフィックコミュニケーション:インクジェット)

インクジェット事業

- 建材・セラミックなどさまざまな用途に使用される産業用インクジェットプリンター向けヘッド及びインクを提供
- 顧客ニーズに合わせヘッド、インク、画像処理などのソフトウェアを組み合わせたシステムインテグレーションにも注力

主要3事業



Printheads

富士フイルムの先進技術をフル投入する ことで世界最高水準のヘッド性能を実現









安定した印刷を支える 高次元な顔料分散技術





インクやヘッド、ソフトウエアなどを組み

合わせ個別の顧客ニーズに合わせてカスタ マイズしたインクジェットシステム





コンシューマーイメージング

イメージング

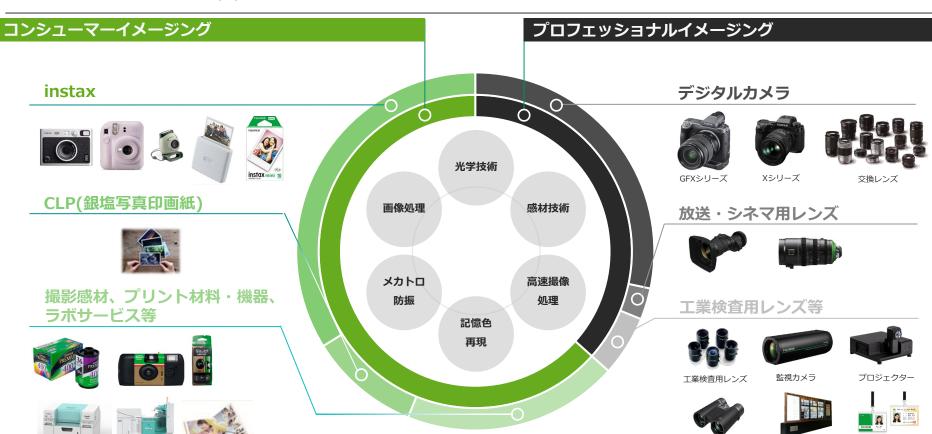
プロフェッショナルイメージング

イメージング事業におけるビジネスエコシステム

人々・社会にとって不可欠な写真・映像の世界に、新たな価値を送り届けるFUJIFILM独自のエコシステム



双眼鏡



ICカード

広告・ディスプレイ

コンシューマーイメージング: instax

- ・ 1998年に日本で発売を開始、2023年11月に25周年。現在世界100か国以上で展開中
- 時代と共に、トレンドや進化する技術を取り入れ、アナログインスタントカメラから、ハイブリッド インスタントカメラ、スマホプリンター、そして撮影に特化したカメラへとラインアップを拡充

2024年6月時点

	insta) mini	(instax SQUARE	instax WIDE
アナログカメラ	instax instax mini 12 mini 40	instax mini 99	instax square square square square	instax WIDE 400
ハイブリッドカメラ (デジタル&アナログ)	instax mini LiPlay	instax mini Evo	-	-
デジタルカメラ *プリント機能なし			- instax Pal	
スマートフォン プリンター	instax mini Li	nk 2	instax square Link	instax Link WIDE

コンシューマーイメージング:instax

多様な新商品とアプリの投入に加え、BtoBビジネスや異業種との協業などを通じて、様々な楽しみ方を 提案し、ユーザー層を拡大

BtoBビジネスの展開



オリジナルデザインのチェキプリントをお客さまへ提供し お客さまとエンゲージメントを高めるお手伝いをする



ジャンル

オリジナルプリント

イベント概要

2 (2) [1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ショッピングモール	ランドマークプラザのクリスマスツリー前で撮影会
テーマパーク	ファン限定イベントでキャラクター入りオリジナルフレームを用いた撮影会
スポンサーイベント	ダンスコンテストの公式スポンサーである飲料メーカーが、ロゴ入り記念写真を提供
音楽フェス	音楽フェスのアトラクション、ボールプール体験中の様子を撮影して提供

異業種コラボレーション

ファッションや音楽、スポーツやゲームなどジャンルを超え、 幅広い分野でinstax活用の幅を拡大



コンシューマーイメージング:プリンティング

ブランディング、啓蒙活動、積極的コミュニケーションを通じプリント価値に対する共感を醸成し、 リアル・オンラインの両面でタッチポイントのチャネルを拡大させている



プロフェッショナルイメージング:デジタルカメラ

フルサイズの1.7倍の大型センサー搭載の超高画質「GFXシリーズ」と、小型・軽量・高画質の「Xシ リーズ | の2本柱で、特徴あるミラーレスデジタルカメラのラインアップを確立



小型・軽量・高画質 こだわりのデザイン

> 画質と機動性のベストバラン スをAPS-Cセンサーで実現

FUJINON



5 カメラとレンズの 一体開発

80年の歴史を持つ「フジノン」の光学 技術を駆使し、カメラと一体開発するこ とで、イメージセンサーの性能を最大限 に発揮したレンズを開発





1億画素σ 圧倒的高画質

ラージフォーマットだから可 能となる、卓越した解像度、 豊かな階調、立体感。

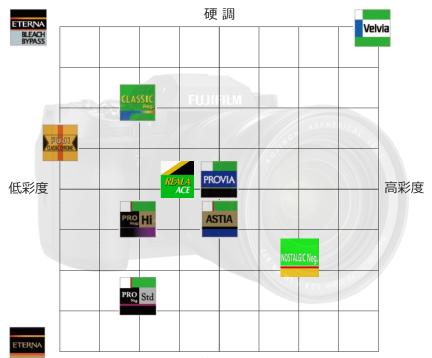
ずっと持ち続けたくなるカメラ、ずっと使い続けたくなるカメラの追求

市場での独自のポジション確立によるプレゼンスの向上

プロフェッショナルイメージング:デジタルカメラ

富士フイルムならではの独自の色再現 フィルムシミュレーション™

撮影意図に合わせてフィルムを交換する感覚で色調・諧調を選択













プロフェッショナルイメージング:光学デバイス・新ビジネス

高い光学技術・精密加工・組立技術を武器に、4K・8K対応放送用レンズを始め、業務用機器ビジネスを展開

放送・シネマ用レンズ







監視・工業検査用レンズ





超遠望監視カメラシステム







空間演出プロジェクター



単品ビジネスからソリューションビジネスへの展開

安全監視ソリューション | インフラ点検ソリューション

「簡単撮影→自動合成・AI解析→情報・+a価値提供」をパッケージで提供



簡単撮影 "

誰でも簡単・最新デバイス 撮影ノウハウ



自動合成·AI解析 "

最先端画像処理技術 AI解析·展開図合成



情報提供 🧦

専用ビュワー表示 クラウド保管・経時差分析情報

空間演出ソリューション





没入自然空間

体験型アート展





体験ゲーム空間

店舗演出

株主・投資家情報サイト

富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報 https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html

決算説明会

https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/earnings-presentations.html

IRイベント資料 https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html

統合報告書

https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html

サステナビリティレポート

https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report

